

講義要項

授業科目		地域・在宅看護論概論		担当者	瀬尾 まどか					
区分	単位数	時間数	授業形態		履修年次・前／後					
	1 単位	15 時間	講義・共同学習		2年次・前期					
授業目標										
地域・在宅看護論の基盤となる概念を理解し、地域包括ケアシステムの中で求められる役割や、対象の生活を支援するための保健・医療・福祉制度の実際について説明できる。										
単元名	目標	時間	単位	授業方法						
1. 地域・在宅看護の目的と役割	在宅看護の背景から、地域での看護活動の変遷と現状及び、在宅看護の必要性と、求められる役割について解釈することができる。	4		講義 共同学習 プレゼンテーション						
2. 在宅療養の支援	在宅看護の提供の場とそれぞれの特徴から、療養の場における支援と、看護師の基本的活動とその視点について述べることができる。	4		講義						
3. 地域・在宅看護に関わる制度とその活用	法・制度の理解をふまえ、訪問看護制度とサービス提供の具体的な内容を理解し説明することができる。	6		講義 共同学習 プレゼンテーション						
	修得試験	1	1							
参考文献等	1. 統系看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論（1）地域・在宅看護の基盤、医学書院。 2. 国民衛生の動向、厚生労働統計局。									
評価	1. 単位修得試験及び授業態度									
備考	実務経験：訪問看護師としての豊富な知識・経験をもとに授業を行う。									